

## 患者さんにやさしい呼吸器診療

気道、肺、胸壁など呼吸に関する臓器の障害からくる呼吸器疾患はきわめて多様ですが、当科では、各疾患に対する臨床・研究グループを設けてスペシャリストを育て、常に最新・最良の医療を行うよう努めています。

### 診療体制

内科学会、呼吸器内科学会指導医、専門医が呼吸器領域の疾患全般の外来・入院診療を担当。他科の疾患に関連した呼吸器合併症に対する診療も多く、院内の幅広い科と連携した診療体制をとっています。

### 対象疾患

肺癌、COPD、気管支喘息、気管支炎、肺炎、肺結核、肺非結核性抗酸菌症、気管支拡張症、間質性肺炎、サルコイドーシス、胸膜炎、気胸、膿胸、中皮腫、縦隔腫瘍、塵肺。

呼吸不全(急性、慢性)、睡眠時無呼吸症候群(呼吸管理睡眠制御学講座)

### 診療、研究実績

#### 一般的な診療についての実績

病床数68床(うち結核病床15)の入院診療とともに、地域の病院・診療所との病・病連携、病・診連携を図りながら、COPD、慢性咳嗽、睡眠時無呼吸、間質性肺疾患、肺腫瘍などといった疾患別専門外来を開いています。

#### 高度医療の取り組み・研究

- ①肺癌に対する個別化治療  
肺癌組織の遺伝子解析による個々の患者に適した治療方法の確立を目指しています。
- ②CT画像解析による呼吸器疾患の病態解明  
COPD、気管支喘息、サルコイドーシスなど呼吸器疾患のCT画像と症状や肺機能などとの関係から疾患の病態解明や治療への応用を開発しています。
- ③iPS細胞研究  
COPD、間質性肺疾患、気管支喘息などを対象に、iPS細胞を用いた病態研究を進めています。
- ④肺移植  
肺移植の適応評価、術前・術後管理などを行っています。



## 睡眠障害と呼吸管理の専門診療を実践

睡眠時無呼吸などの睡眠呼吸障害を中心とした睡眠障害や、いろいろな疾患が原因としておこる呼吸不全に対して、特定の臓器にとらわれない全身的な見地から適切な診察を行い、非侵襲的な呼吸管理法や酸素療法などを用いて最良の治療を専門的に実践することを目的に設立されたユニークな診療科です。

### 診療体制

内科学会、睡眠学会、呼吸器学会、神経内科学会の専門医を含む4名のスタッフを中心に、呼吸管理睡眠時無呼吸および神経睡眠外来と入院診療を担当し、他科疾患に合併することも多いため関連各科と連携をとりながら診療を行っています。睡眠障害の検査に必須の終夜ポリソムノグラフ検査では、日米の睡眠学会の認定資格をもつ4名の検査技師を中心に実施されています。

京都府内唯一の日本睡眠学会睡眠医療認定医療機関Aです。

### 対象疾患

呼吸不全(低酸素血症、高二酸化炭素血症を来す疾患)および呼吸困難を来す疾患、睡眠時無呼吸症候群を中心とした睡眠呼吸障害、その他の睡眠障害(ナルコレプシー、特発性過眠症、レム睡眠行動障害、むずむず脚症候群、周期性四肢運動障害など)。

### 診療、研究実績

#### 一般的な診療についての実績

4床で、年間540件の終夜ポリソムノグラフ検査を実施し、外来患者は月約800名(持続陽圧:シーパップ600名、マスク人工呼吸50名を含む)および年間約300名の院内急性期マスク人工呼吸療法を他の診療科、地域の病院とも連携して、専門的な検査、診療を実践し、また、還元しています。

#### 高度医療の取り組み・研究

- ①種々の非侵襲的な換気補助による呼吸管理  
睡眠時無呼吸症候群などの睡眠呼吸障害、急性・慢性の呼吸不全の患者さんに、酸素療法を含めて、多種類のマスクを介して各種病態にあわせた非侵襲的換気療法(マスク人工呼吸管理:CPAP、blevel-PAP、ASVなど)による呼吸管理を行います。
- ②移植医療を含めた高度先端医療を補助する呼吸管理  
京大病院で実施されている肝、肺移植などの臓器移植、骨髄移植、先端技術を要する諸手術、生物製剤、化学療法などの高度医療に対して、術前術後、治療前後の呼吸管理を、非侵襲的人工呼吸器などを用いながら実践し、補助しています。
- ③呼吸不全に対する先進医療への取り組み  
多くの基礎研究、臨床研究を通して、呼吸不全に関する病態解明を目指し、新規治療法の開発に向け、日夜努力を重ねています。

